

2018年2月2日

ダイハツディーゼル株式会社

デュアルフューエルエンジン初号機を出荷

ダイハツディーゼル株式会社は、この度、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センター様向けにデュアルフューエルエンジン(6DE28DF)1台を出荷しました。

6DE28DF型エンジンは日本海事協会様のご支援を得て開発を進めたもので、液体及び都市ガスの2種類の燃料で運転が可能であり、条件に応じ燃料を切替えて運転することが可能です。従来のディーゼルエンジンとガスエンジンの技術を活用し、燃料供給に多様性を持たせることで、最適な条件での運転・運用が可能となった高性能なエンジンです。

筑波宇宙センターでは、実験設備の電力需要が増加した際のピークカット用として、また災害等による停電発生時におけるBCP(事業継続計画)を支える重要な自家用発電設備として運用されます。

今後ダイハツディーゼルは燃料の多様化、および環境対応ニーズに応えるべく、陸用では常用・非常用兼用機関として、船舶用ではIMO NOx 3次規制などの環境対応に適した機関として積極的に営業展開を進めてまいります。

今回のエンジン概要

機関型式 : 6DE28DF
定格出力 : 1,708kW (約2,322PS)
発電機出力 : 2,000kVA (1,600kW)
定格回転 : 750min⁻¹
使用燃料 : A重油、都市ガス13A

[本件に関するお問合せ先]

管理統括部 水科 TEL : 06 - 6454 - 2331

以上